



夏の「オープンハウス」の報告をします

こんな方法で、川に対するご意見をうかがいました

▼ステッカーアンケート

カードに意見を書き、地図のその場所にシールを貼ってもらいました。

その場所にシールを貼る



カードにコメントを書く



▼アンケート

8項目のアンケートに答えてもらいました。



●会場に立ち寄った市民の声●

- ・こういうの、いいんじゃないですかね。ふらっと来て目にするのができるというのがいい。(シルバー世代の男性)
- ・子どもが「クイズやる〜」っていうんで立ち寄った。ふだん川の話は、あまり考えたこともなかったけど、考える機会になった。(子連れのお父さん)
- ・人通りの多いところで、いろいろな意見を聞くのがいいですね。集会なんかには、よっぽどでないといけないから。孫を見て、小さい子どもが遊べる水辺があるといいなと、いつも思っています。(孫連れのお母さん)
- ・水害にあったことがあるので、興味があります。治水対策について、こういった機会に話ができるのは大事ですね。(年輩の男性)
- ・役所の工事の計画などは、専門的な言葉が多くわかりにくいけれど、ここの展示はわかりやすい。立ち寄りやすい場所で行っているのもいいですね。(子連れのお母さん)



カンパジづくり

各開催地の市長さんも視察されました！



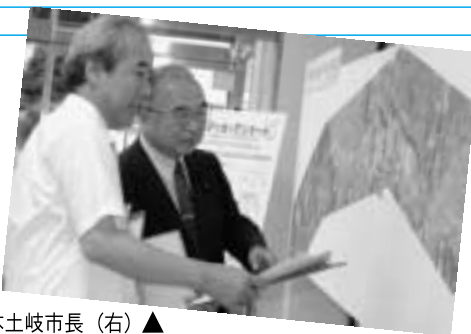
鶴飼春日井市長

「多くの市民の声が反映される計画づくりをすすめてください」というメッセージをいただきました。

◀ 鶴飼春日井市長 (右)

塚本土岐市長

「復旧緊急事業によって、土岐川がさらにきれいになりました。今後も安全な川づくりを進めましょう」とメッセージをいただきました。



塚本土岐市長 (右) ▲

▼ 西寺多治見市長 (左) と 庄内川事務所長 (右)



西寺多治見市長

買い物で来たのに、みなさん結構、関心を持って見えていますね。この目的だけで公共施設に足を運ぶ人は少ないので、こういう場所で行うのはいいと思います。多治見、土岐、瑞浪は、土岐川が町のまん中を流れているので、関心が高いんです。ここは、ちょうどいいゆったりした川幅ですが、もっと水質が良くなるのが課題でしょう。子どもたちが遊べるような川になるといいな、と思います。(談)

第1回 土岐川庄内川市民意見交換会

はじめての「市民意見交換会」では、市民参加に対する期待と課題が話されました

—— 市民意見交換会を行う意義と、進め方について出された意見を紹介します ——

西寺多治見市長 挨拶



今日は、多治見においでいただきありがとうございます。

計画づくりにあたり、まずは安全な川づくりが大事ですが、一方で自然環境やふるさとの原風景としての土岐川庄内川の姿を大切にしていかなければなりません。そういう意味でみんなで力を合わせて川を守っていく、育てていくというのが必要となります。この交換会を通して、皆様方のご意見を整備計画に反映させていくことは大きな意味のあることだと思います。それぞれの方の問題意識で大いに議論をしていただければと思います。

主催者 挨拶 (庄内川河川事務所長)



今日はこんなに多くの方に集まっていただき、皆さんの熱意に答えていかなければと考えております。

この会は、これから20年30年間の土岐川・庄内川で何をすべきかということ、みんなで考えようという会です。河川整備計画というと工事の話ばかりに聞こえますが、ハード、ソフト両方合わせてやっていこうと思っています。市民の皆さんの目から見た観点とか気付いている事、いろんな思いを自由に意見交換していただき、できれば来年の今頃にはまとめていただければ、ありがたいと思っています。我々もオブザーバーとして入って、意見交換したいと思っています。よろしくお願いいたします。



市民意見交換会の進め方、テーマについて、参加者から出された意見

【市民意見交換会の位置付け、進め方について】

●市民意見交換会のあり方

ここでの提言はどこに行くのか？／行政のガス抜き対策にならないようにする／継続する会にしたい／川という枠でなく森—川—海の中の一部として考える。他省庁とは連携を重視／国土交通省のなわばりの中でやるのではなくて、流域市民サミットにしたい／「土岐川」をもっと大事にしてほしい

●行政との関係

これまではなかなか市民の声が届かなかった／行政と市民との関わりを見直そう、過去の経緯、歴史を十分に踏まえるべき／市民側もこの機会を活用しなきゃ／行政批判は別にしゃべるコーナーを作って思いっきり出す。ここではやらない

●テーマをしぼって取り組みたい

土地利用、護岸、水質、生き物等のグループ分けをして進めたほうがよい／河川流域が長いので、共通して考えられるテーマを深められれば／グループ分けは共通点がある地域、問題等に分けた方がよい、土岐川、庄内川、上流、下流

●学習が必要

生き物などに詳しい方のお話を聴く機会をつくる／新河川法の勉強会。具体的に何が出来るのかを知りたい／河川、水辺の環境情報を皆で知りたい／外国の事例、歴史から学ぶ

【取り組みたいテーマ、疑問等】

●治水

堤防の強度の問題／小里川ダムのたいせき土砂の排出装置／河川敷に池を(水たまり)作れるか／河床の低下／堤防のかさ上げ、幅／ミニダム、雨水利用／治水対策の上で都市開発を！／流域の開発計画をトータルで見る／庄内川は新川を含めた処理計画が必要／洗堰、遊水地の計画は問題／川が今は直線的だが曲線的にできないか／これだけ大きな川は治水が第一

●河川敷、中州の利用

子どもや高齢者までが楽しく散歩出来るような河川敷／河川内の、ゴルフ場、どうして認められているの？／川の流を阻害するような建物、工作物は問題／中州を公園として利用

●堤防の景観デザインについて

土岐川は川に降りられない。昇降口を増やす／川(堤防、堤内)に木を植えたい。

●水質について

上流の排水設備、排水方法／陶土排水の問題／関係行政の下水対策／工場、公共施設の排水調査／王子製紙の排水対策

●ゴミ

ゴミをなくすような仕組みの提案／ゴミの放流防止、回収、方法／行政の取り組み／支流からゴミが集まる／川の上流と下流とでゴミに対する思いが差が大々々それを考えよう！

●生態系

庄内川の水を庄内用水に通年通水し、ピオトープとする／河川敷の中に溜池(魚溜り)／コサギが来て鮎を食べてしまうというように話して話せば／漁協のカワウ対策について／自由に川で活動できる様に漁協と話し合う

●生活の中に川をとりもどす

川はよるなさわわなが続いてきて川から離れてしまった／今は川には行けるようになったが泳ぐまではいかない／元の庄内川に戻したい／子どもが川とふれあえるような環境づくり

●市民の参加、活動を進める

20代、30代の参加が大事／子どもや主婦等の広い参加／市民参加のあり方の具体的な提示／川づくりにより市民参加を進めていけるようなプラン、活動をつくりたい／住民の川に対する意識を持たせる／もっと「子ども・若者の参加」を促す活動(しくみ)も入れていこう／子どもたちの活動に対する専門家の支援／川での環境教育の活動を「ゴミひろい」だけにはしたくない／学校教育との連携を深めていけたらいい